

事業再構築補助金を活用し、新たな取り組み クルーズのゆたか倶楽部とフィンコーポレーション

コロナ禍も3年目に入り、厳しい局面が続いている旅行業界では、企業の存続を図るために、様々な工夫や努力が重ねられてきています。中小企業庁が新規事業分野への展開や業態転換などの取り組みを支援する事業再構築補助金の第2回公募では、クルーズのゆたか倶楽部とフィンコーポレーションの事業計画も採択されました。両社による新規事業展開の取り組みを紹介します。

自社ビルに 英語教育型保育園併設



クルーズのゆたか倶楽部
松浦賢太郎代表取締役社長

急事態宣言が繰り返され、コロナ禍も想定を超えて長引く中で、自社の強みを改めて社員全員に考えてもらった」と述懐。SWOT分析の手法も用いて徹底した見直しを行い、「社員の英語力」「社員全てが旅程管理主任者の有資格者」「自社ビル所有」といった強みを確認しています。

1984年に創業されたクルーズのゆたか倶楽部は、40年近くにわたってクルーズ販売に特化した事業を展開してきましたが、コロナ前には創業後の最高規模に達していた売り上げも一気に過去最低の水準まで落ち込むという事態に直面しました。

事業再構築を検討する中で、松浦社長は「コロナ禍のような緊急事態でも影響を最小限に抑えられる社会インフラ事業への進出を考え、千代田区に自社ビルを持つ立地と待機児童問題を抱える地域性を重ね合わせ、保育事業を着想した」と説明。自社ビルを改装し、英語教育型保育園（今秋開園予定）を併設します。

「園児を海外旅行にも連れていき、日本で唯一の『英語で旅する保育園』を実現したい」（松浦社長）考えです。



英語教育型保育園が併設される
クルーズのゆたか倶楽部本社ビル

北欧文化に触れる 多目的スペース



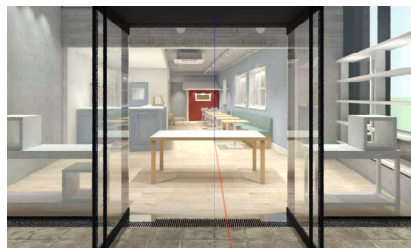
フィンコーポレーション
美甘小竹代表取締役社長

1983年の会社設立以来、北欧4カ国やバルト三国、アイスランド、グリーンランドなどへの旅を扱ってきたフィンコーポレーション

は、東京・表参道に北欧文化に触れる多目的カルチャースペースを開設します。

美甘小竹代表取締役社長は、「北欧旅行の専門店として培ってきた強みを生かしつつ、北欧好きばかりのスタッフのモチベーションやメンタルヘルスを維持することも重視し、新規事業の道を探った」と説明。カフェや物販スペースも併う施設は、イベントやワークショップにも利用でき、各国の政府観光局などと文化講座なども企画して、日本における北欧文化を盛り上げていく方針です。

美甘社長は、「現地への旅行が叶わない状況が続いているものの、北欧への強い関心を持つ北欧ファンのネットワークを拡充し、海外ツアーが再開された時にはお客様として現地での旅行を楽しんでもらえるようにしたい」と



多目的カルチャースペースのエントランス部分（イメージ）

語り、多目的カルチャースペースを拠点にリアルでの交流を通じた市場開発や需要創出にも期待を寄せています。